

平成 28 年度 函館あおい幼稚園 自己評価・学校関係者評価表（10 段階評価）

評価分類	評定	内 容
保育の計画性	7.5	園の教育理念や教育方針を理解している。
	8.8	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる。
	7.8	幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している。
	6.3	指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている。
	7.3	教師の願いや意図をもって環境構成をしている。
	7.5	自分の保育と計画の評価・反省は、行うようにしている。
	6.8	幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている。
保育のあり方・幼児への対応	7.8	園内に危険な個所がないかどうか、危険な遊び方はないかななどを常に観察している。
	7.5	幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても、推察するようにしている。
	6.9	個々の幼児の発達の様子や課題について見通しをもって理解できる。
	7.1	一人一人と集団の関係を、常に考えながらかかわっている。
	8.9	クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている。
	6.9	クラス的环境構成などについても、お互いに意見を交換している。
	8.9	幼児のことについて、常に保育者同士で話し合い、クラス・学年をこえて情報を共有している。
教師としての資質・能力・良識・適性	7.9	締切りのある仕事や提出物は締切日をきちんと守っている。
	6.3	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している。
	9.3	教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
	7.9	会議の時は、自分の意見や質問を前もって考えている。
	7.5	保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことをわかりやすく話すことができ、保護者との信頼関係を作ることに努めている。
	7.8	自らの健康にも配慮し、つめが伸びていないかどうか等、保育をする上での安全性にも気をつけている。

評価分類	評定	内 容
保護者への対応	8.1	個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話・連絡帳などを使って伝え合っている。
	7.4	保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている。
	7.9	自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞く。
研修と研究	7.5	研究保育を参観する時は、自分なりの課題と視点をもって観ている。
	7.9	自分なりの幼児観・保育観の確立のための研修・研究を行っている。
	6.8	園内の環境を、いくつかのまとまりや、関連性を持たせて保育の計画・実践に生かすことができる。

学級経営反省点

- 成長と共に自信を深め、自己をのびのびと発揮できる子が多くなった。人前に立つ喜びも感じながら、活動や遊びにも積極的になったと思われる。
しかしその気持ちのぶつかり合いや衝突も様々な場面で見られるようになった。それを互いに更なる成長となるよう援助した。
後半は大分相手の気持ちや立場になって考えたり譲り合ったりできるようになった。
- 「誉める」「認める」「考えさせる」ということを保育の支柱としてきたが、子ども同士にも浸透し、互いを認め合えるクラスに成長したと思う。
- 困っている人、小さい子に対してとても優しく、子どもたちで話を聞き、考え、それに対して適切な行動や言葉をかけることができるようになった。また、子どもたちだけで出来ることも増え、クラスとしての団結力、絆もとても深くなった。
しかし、楽しくなり盛り上がると周囲の状況を把握できない。はじめの大切さは日々伝え指導してきたものの、その場だけできちんと理解し行動できるようになったかという点、もう少ししっかりと状況に応じた力をつけられるようにしていきたいかった。
- 一人一人の良さ（個性）や課題をしっかりと捉え、具体的な活動を私自身がしていくことが不十分だった。
次年度はより、一人一人と深くかわり、具体的な目標をもち、充実した日々となれるよう心掛けて過ごしていきたい。
- 子どもたちの遊びの環境作りでは、子どもたちの「こうしてみたい」という声をなかなか活かせず、変化のない環境作りとなってしまった。
そのような中でも、子どもたち自身が新しい遊びを考えたり展開していく様子を見て、私自身が子どもたちから学ぶことも多かった。
- 子どもたちは、一人一人自分の力と、友達やまわりの人とのかわりで影響しあって成長していく。そんな時間を補償しながら見守っていくことも大切だと思う。
そこに私達の教育環境をどう設定していくか、子どもたちの心がワクワク踊るような、自然に体や心が動き出すような環境設定を目指していきたいと思う。

今後取り組みたい課題

- 好きな遊びの内容や環境の工夫に力を入れたい。
- 時間の有効活用。（帰りの前の時間や、活動と活動の間の時間を上手く使い、楽しい時間を増やしたい。）
- 歌を楽しみながら歌えるように力を入れたい。
- 子どもたちからのアイデアを取り入れ、環境準備をすすめていく。
- 一人一人をしっかりと見つめ、その子の個性・課題をより把握し、よりよい成長を促すことに取り組みたい。
- 様々な物の整理整頓を自分自身心掛けたい。
- 子育てに悩んだり、不安を感じている保護者に、少しでも子どもといる時間を楽しく思ってもらえるような提案をしたい。

学校関係者からの評価

- 自己を厳しく評価しておられ、教育に対する新撃な姿勢が見て取れました。
先生方の一丸となった取り組みは素晴らしく、その仲の良い雰囲気があおい幼稚園の穏やかな明るいイメージとなり、親や子供達に伝わっていると思います。この温かいあおい幼稚園が変わらない事を切に願います。
- 先生方は、お忙しく遅くまで大変な時もあると思いますが色々な経験をさせてもらえて、嬉しく成長を感じています。
先生方はいつも笑顔で優しく子供に接してくれて、体調の悪い時やささいな事でも気にかけて下さり、職員のみなさんが一人一人を覚えて下さり安心して子供をお願いできます。
毎日、楽しそうに通園する子供をみて通わせて良かったと思います。
- 職員の皆様が子どもたちに、よりそっている・よりそって行きたいという思いをよく理解できます。
園は、園児にとって家から一歩出た初めての社会生活の場であるので、今後もいろいろな経験もできていけたらと思います。
家との違いということも、子どもたちが理解できて、一つでも楽しいことを思えたら、それは先生たちの努力やよき指導をしていることなんだと思います。
- 職員全員が「ひとつのチームである…」という所が、1番自己評価が高かったので、みなさんのつながりの深さを感じ嬉しく、親としても安心して預けることができます。
- バスの添乗の先生によって、対応が違うこともあったので、マニュアルもしくは見直しがあればいいと思います。
- 給食の少ない月があるので、もう少し給食の日があれば良かったと思います。